

## 法人10周年記念企画 あのとき②

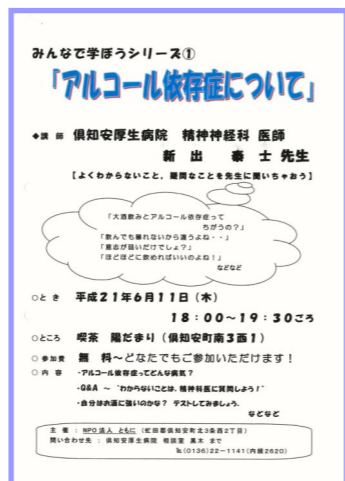
### 平成21（2009）年6月11日 みんなで学ぼうシリーズ開講

精神疾患とその障がいについて学べる講座「みんなで学ぼうシリーズ」（以下「みんな学」）は、3月で80回目を迎えます。今から9年前、平成21年6月11日に第1回を開催しました。

「みんな学」誕生のきっかけは、アルコール依存症の回復を目的とする集まり「断酒会」が倶知安で再開される計画となり、メンバーや関係者に依存症の知識をもってもらおうと倶知安厚生病院の黒木満寿美PSWが勉強会を企画していたところ、当時理事長だった土田正一郎Dr.の発案で一般に開放した講座にすることになり、当法人主催の形で始まりました。テーマは「アルコール依存症について」で、27人も集まりました。その後定例化し現在に至っています。

今まで倶知安厚生病院精神神経科の先生のほか、薬剤師、ソーシャルワーカー、作業療法士といった病院の専門職、そして当法人の職員や外部講師などが多彩なテーマで講師を務めました。最近では参加者同士で一つのテーマを話し合う「座談会形式」を不定期で導入しています。

第79回目の今月は「摂食障害」です。喫茶陽だまりさんで2月26日午後6時から開始します。ぜひ学びにいらして下さい。



「みんな学」第1回開催を告知したチラシ。



平成26年8月5日開催「炭水化物と頭のはたらき」の講座風景。

精神科医 土田正一郎の



### その46 学ぶということ (続き)

答えがあるという世界は、答えがあるという世界に限定された世界での出来事である。約半世紀生きてきて、答えない日々が悪戦苦闘しているうちに私は現実世界を失ってしまったのだろうか。答えがないことに耐える力を獲得したのだろうか。答えがないことに鈍感になったのだろうか。それとも敏感すぎたのか。答えを求めて、小さな世界に安住するのは止めたらしい。

チェックリストを挙げてどうするというのだ。  
学ぶということ、その方法が言葉にならないので困っている。

ともに顧問（自称）

### 各事業報告～1月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行2人、継続B21人 見学/9人 体験/1人
- ◆グループホームよろこび 利用者/21人（定員22人） 見学/0人、体験/1人
- ◆法人会員 正会員20人、賛助会員 団体2 個人90人
- ◆寄付物品 牛乳パック タオル
- ◆今年度寄付金 のべ27人 594,892円

### 編集後記

今年は冬季スポーツが注目を集める年です。2026年大会\*4招致を表明している札幌は、アルペンスキーをニセコ・倶知安地域で開催する計画です。種目は高低差1,000mの急斜面を滑る滑降に、日本選手も活躍している回転などがあります。ぜひ観戦したいものです。（かわさき）

## 通信 ともに

第57号



2018年2月9日発行

発行者/認定NPO法人ともに  
住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目  
でんわ (0136) 55-5828  
FAX (0136) 55-5829  
Eメール info@npo-tomoni.com  
公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com  
公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

### 今月の一枚



1月17日 ワークショップ製造部棟の作業を撮影

### 真冬の風物詩 屋根雪下ろし作業

### 障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

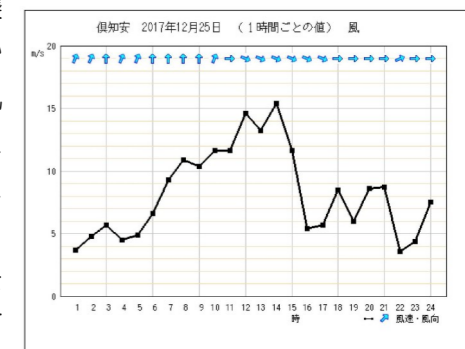
### 臨時閉所の基準を決める～利用者の安全第一で

昨年の12月25日、いわゆる「クリスマス寒波」が北海道を襲いました。この時午前中は春先のような穏やかな天候で、まさか暴風雪がやってくると思わず、通常通り開所しました。午後風が強くなり、最大瞬間風速が秒速28.8mという暴風が吹いたため、利用者の安全のために急きょ閉所時間を早め、昼食後すぐに帰宅してもらいました。

今後利用者へ早めの対応ができるよう、臨時閉所にする基準を決めて利用者にも告知しました。①気象庁より当日朝、倶知安町に右表のような警報が出た場合、②台風が通過するおそれが出た場合、③その他利用者に危険をおよぼす出来事が起こった場合、の3点です。決まったときはすみやかに緊急連絡網を使い、利用者に連絡します。

翌26日早朝、この日も暴風雪警報が続いていたため、ただちにワークショップようていの閉所を決め、職員と利用者に連絡\*1しました。この日も最大瞬間風速が22.0mの強風でしたので、開所したらどうなっていたか・・・とホッとしました。

冬だけでなく、夏期の台風時も気象情報に注意し、利用者の安全を第一に考えた運営をすすめていきます。



12月25日の風速推移（気象庁HPより）。昼過ぎに秒速15m以上の暴風が吹いたことがわかる。

発表時閉所するおもな警報
暴風雪警報
大雪警報
暴風警報
大雨警報

じゃがいも“さやあかね”在庫あります! お問い合わせは当法人へ

## PSTから支援を振り返って～講師村上さんインタビュー

当法人の職員を対象に、専門的なコミュニケーション技術を学ぶ内部研修「PST (Professional Skills Training)」を始めて5年目になります。講師をお願いしている

「札幌なかまの杜クリニック」作業療法士の村上元つかささんにインタビューしました。



——PSTを始めて4年以上になります。始めたころと比べて職員にどのような変化がありましたか？

村上さん「もう4年も経ったんですね。この4年を振り返ると、職員のみなさんが支援方法を自分のこととしてとらえ、職員間のコミュニケーションがさかんになったと感じています。当初は自分の意見を持ちつつも話せなかった人が目立っていましたが、以前よりも積極的に話していると思います。」

——村上さんは作業療法士としての本業とは別に、「オフィスコンパス」という団体に活動しています。どんな活動ですか？

村上さん「後輩のソーシャルワーカーと一緒に立ち上げた任意団体で、SSTや精神障がい関連の講演会や勉強会を企画、開催しています。ともにさんからも受講者が来られてとても嬉しいです。この会を通して、参加した方が新たな人や場所とのつながりをもってもらいたいと考えています。実際私たちも多くの方とつながれるようになりました。」

——最後にご自身の夢についてうかがいます。

村上さん「この地域は精神障がい分野で活発な活動をされていますが、地域によって支援の差があるのが現状です。研修などで最新の情報を公開しても、地理的に遠くでの開催で差が出てきてしまいます。この差を何とかしたいです。それから支援をすることは大変ですが、とても“面白い”仕事であることを知ってほしいとも思っています。」

村上さんは最後に「私は倶知安が好きなので、このような活動を続けていってほしい」と熱く語りました。大変だけど楽しい支援の仕事、私たちもより良質な支援ができるよう努力していきたいと思えます。忙しい中ありがとうございました。(聞き手：かわさき)

## 就労支援に関する研修のお知らせ

2月23日金曜日、羊蹄山ろく自立支援協議会 就労支援部会の主催で「就労支援に関する研修会」を倶知安町中小企業センターで開催します。

講師はさっぽろひかり福祉会理事長で北海道大学名誉教授の上野武治氏で、「障害者差別禁止と合理的配慮について考える」という内容です。お問い合わせは当法人かみよまでお願いします。内容は次号で取り上げる予定です。

今年は8月に札幌で「日本職業リハビリテーション学会\*2」が開かれることになっており、北海道での障がい者の就労支援が注目される年になりそうです。

就労支援に関する研修  
～企業就労や地域生活での障害者差別禁止と合理的配慮について考える～

日時：平成30年2月23日(金) 13:30～16:30  
場所：倶知安町中小企業センター (倶知安町南2条西1丁目32番地)  
対象：就労支援に関わっている方はもちろんのこと、少しでも興味のある方や関心を持っている方など  
参加費：無料  
講師：さっぽろひかり福祉会理事長・北大名誉教授 上野 武治氏  
内容：障害者差別禁止と合理的配慮について考える/講演

※申し込みは2月中旬以降になりますので、お早めにご予約ください。  
※お申し込みの際は「研修会」の旨をお知らせください。  
※お申し込みは、お電話または、お申し込み用紙にてお願いします。  
※お申し込みは、お電話または、お申し込み用紙にてお願いします。  
※お申し込みは、お電話または、お申し込み用紙にてお願いします。

※申し込みは、お電話または、お申し込み用紙にてお願いします。  
※お申し込みは、お電話または、お申し込み用紙にてお願いします。  
※お申し込みは、お電話または、お申し込み用紙にてお願いします。

## 年末年始のワークショップ

### 12月28日 大掃除&納会

今回も「創作和食レストランテさかもと」さんの海鮮丼\*3を食べ、一年間の労をねぎらいました。



毎年利用者が心待ちにしている海鮮丼

### 1月4日 新年会

新年最初の開所日の1月9日を前に、さまざまなイベントを開きました。第1日は新年会、焼きそばをみんなでつくって食べ、ゲームをして盛り上がりしました。



新年会、熱闘腕相撲

### 1月5日 軽スポーツ

正月はつつい食べすぎたり、寝正月になったりするもの。体操やWii fitを使ってゲームをし、運動をして過ごしました。

### 1月6日 上映会

ビデオで映画をみんなで鑑賞しました。引きこもりの男の子がロボットを使って活躍する映画で、ハラハラしながら観ていました。



おいしいもので新年を祝う

### 1月8日 ボードゲームを楽しむ

成人の日はオセロ、将棋、ドンジャラなどの対戦型ゲームを楽しみました。

### 1月9日 仕事始め

この日から正式に作業を始めました。年末年始に降らなかった雪がどっと降り、除雪作業に追われました。

## 土日祝日を日中2人体制に～支援の充実をめざして

グループホームは昨年12月から、土日祝日の日中勤務体制を1人から2人に増やしました。制度上は1人体制でも問題ありませんが、2人にすることで入居者に何かあったとき、一人が入居者を直接支援しもう一人は連絡をするといったスムーズな対応ができるので、職員も安心して業務に当たることができます。

2人体制を継続し平日日勤者数を確保するため、新たに夜勤業務ができるグループホームの常勤職員を募集しています。お心当たりの方はハローワークにお問い合わせください。



グループホームまどか  
(わっくわく)